

イベント情報・取材のご案内

立命館アジア太平洋大学
2019年5月8日 配信 APUリリース 2019-05

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

第62回 歴史地理学会大会・総会をAPUで初開催 5月18日(土)～20日(月) 出口学長による公開講演会も実施

2019年5月18日(土)～20日(月)の3日間、歴史地理学会による「歴史地理学会大会・総会」をAPUで初めて開催します。18日には出口学長が「歴史と地理－キッシンジャーと地政学」をテーマに講演します。**全てのイベントを一般公開しています。※一部有料**

■5月18日(土)

【公開講演会】14:00～15:50 ※無料、申込不要

会場：立命館アジア太平洋大学 F 棟209号

登壇者：出口治明（立命館アジア太平洋大学学長）「歴史と地理－キッシンジャーと地政学」

平井義人（日出町歴史資料館長）「見落とされていた地理的要因－慶長豊後地震研究を巡って」

【研究発表会】※有料

会費：1000円 資料と引き換えになります。

自由論題・座長 大城直樹、16:00-17:00 (F棟209号)

登壇者：宮本真二（岡山理科大学）・岩国市産業振興部：中世に陸化した岩国平野の土地開発史

村上晴澄（立命館大学）：室町時代前期の山陽道と瀬戸内海の風景

－今川了俊の「道ゆきぶり」を事例として－

大平晃久（長崎大学）：戦後長崎における「不法占拠」バラック地区

特別セッション「他者の目で見えた近代地理認識：東アジアを中心として」

・座長：轟 博志 16:00-17:50 (F棟210号)

登壇者：米家泰作（京都大学）：帝国日本のツーリズムと心象地理の空間構造

金鐘根（東北アジア歴史財団）：心象地理の観点から見た植民都市京城の二重都市論

丁致栄（韓国学中央研究院）：1917年外国人の金剛山旅行

【懇親会】※有料

時間：18:00～19:30 会場：立命館アジア太平洋大学 カフェテリア

参加費：4000円 受付にて支払い

■5月19日(日)

【研究発表会】[自由論題・共同課題] 10:00～15:00

※有料（ただし、前日の研究発表会に参加した方は無料）

第1会場：F 棟209号

自由討論①・座長：川口 洋

登壇者：兼岡真子（茨城大学・院）：登米伊達家中による新田開発と土地所有

島本多敬（立命館大学）：伊予吉田藩による裁許絵図関連資料の保管と領域管理

自由討論②・座長：天野宏司

登壇者：花木宏直（琉球大学）：地方作成海外渡航申請資料について

－福岡県八女郡下広川村役場「海外渡航関係留」を中心に－

井口琢人（神戸大学）：要塞地帯と外国人観光客－歴史資料としての図像史料の検討－

自由討論③・座長：中西僚太郎

登壇者：林 泰正（中部大学・院）：近現代岐阜県可児郡における亜炭鉱山の経営主体

山田 誠（京都大学・名誉）：戦時改描図に関する若干の新知見

渋谷鎮明（中部大学）：朝鮮時代の農書に見る相宅の条件

第2 会場:F棟210号

[共同課題①・座長：椿 真智子]

登壇者：大西真由（雙葉中学校・高等学校）：「日本の諸地域」における「歴史的背景」の視点の重要性
鈴木 允（横浜国立大学）：地理学習における地域史の教材化
－学園都市「国立」の成立と発展についての授業実践を事例に－

[共同課題②・座長：三木一彦]

登壇者：椿真智子（東京学芸大）：身近な地域の経験・記憶にもとづく地理教育と地域史の融合
－多摩地域の崖線・ハケを事例に－

関戸明子（群馬大学）、今井貴秀(前橋市立芳賀小)：歴史地理学的手法を活用した
社会科教材の開発－前橋市を事例として－

[共同課題③・座長：関戸明子]

登壇者：清水克志（秀明大学）、押元常德(八千代市立郷土博物館)：教員養成課程における歴史地誌の
学修と教育現場への応用－大学と博物館の連携による実践－

阿部志朗（益田翔陽高等学校）：GISを利用した高校地理学習における古地図の教材化

[共同課題④・座長：井村博宣]

登壇者：藤田裕嗣（神戸大学）：2018年度神戸大学「高度教養科目」受講生を通じてみた
「地理総合」の課題と問題点

古田悦造（東京学芸大学・名誉）：地理歴史科教育法における歴史地理学の意義

■5月20日(月)

【巡検@別府市・日出町】9:00～16:00 ※要事前申込

テーマ：「国際温泉観光都市別府と小藩分立の城下町日出」

集合：5月20日(月)9:00 JR 別府駅改札前（集合地点地図を配布）

コース：別府駅（集合）→オンパクの竹瓦湯けむり散歩のコースを辿る→別府駅（1時間食事休憩）→
陽谷駅→日出二の丸館→日出陽谷城址→日出町歴史資料館→鬼門櫓→武家屋敷→
致道館（藩校）跡→城下カレイ養殖場→松屋寺→帆足万里の墓→陽谷駅（16時解散）
※電車および徒歩により移動します。昼食は休憩時間に自由食とします。
※進行によっては午後の観察ポイントを一部省略します。

案内者：轟博志（立命館アジア太平洋大学）

参加費：電車代、資料館入館料等を併せて約2000円が必要です。

使用資料：2万5千分の1地形図「別府東部」「別府西部」「杵築」

定員：最大25名、最少5名

申し込み：5月10日（金）17:00までに名前、所属、住所、携帯電話番号を明記のうえ、
メールまたはハガキにてお申し込みください。

期間厳守でお願いいたしますが、参加定員に達した時点で受付を終了させていただきます。
受付できなかった場合には、メールまたはハガキにて御連絡申し上げます。

メール：hstod@apu.ac.jp（立命館アジア太平洋大学、轟博志宛）

郵便宛先：〒874-8577 大分県別府市十文字原1-1、立命館アジア太平洋大学 轟博志宛

【宿泊情報】

JR 別府駅周辺を始め別府市内には多くの宿泊施設がございますが、
昨今のインバウンド観光需要の増加を考慮して早めのご予約をお願いいたします。

【大会開催中（5月18日～19日）の緊急連絡先】

立命館アジア太平洋大学 電話：0977-78-1026（轟研究室。不在の場合もあります）

【大会実行委員会】

轟博志（委員長、立命館アジア太平洋大学）

平井義人（日出町歴史資料館長）

笹川秀夫（立命館アジア太平洋大学）